

みんなで……

- ・公害をなくしましよう
- ・木と花を植えましよう
- ・スポーツを楽しみましよう
- ・暴力を追放しましよう

No.52

44.10.5



見たり 聞いたり

応急手当を忘れ
ずに

ある救急隊員

○月○日 専用電話『119番』がけたたましく鳴る。「交通事故です。○○町○○屋の前で単車の人がたおれています」小雨の降る中を現場に行くと、近所の人のがけが人をバスタオルなどにくるみ、保温しながら救急車のくるのをまつてくれた。人のことには無関心な風潮のこのごろ、見知らぬ人を助けてくれた人たちの暖かい心が感じられうれしかった。

○月○日 「娘が睡眠薬を飲んだのです早くお願ひします」母親のことばは悲壮であつた。患者を病院に収容したのは出動して5分か6分くらいたつてからだ。しかし、C病院では診断手続きだの、母親からの事情聴取に時間がかかり、医師がきたのは15分くらいしてからだつた。服毒患者は素人が考えても一刻も早く胃を洗滌しなければならないのに……。

○月○日 久し振りに東名出動。現場は薩埵峠の少し手前で署から約30分。患者は出血がひどく路上に伏せつていた。すでに県警の東名分遣隊の検証がはじまつ

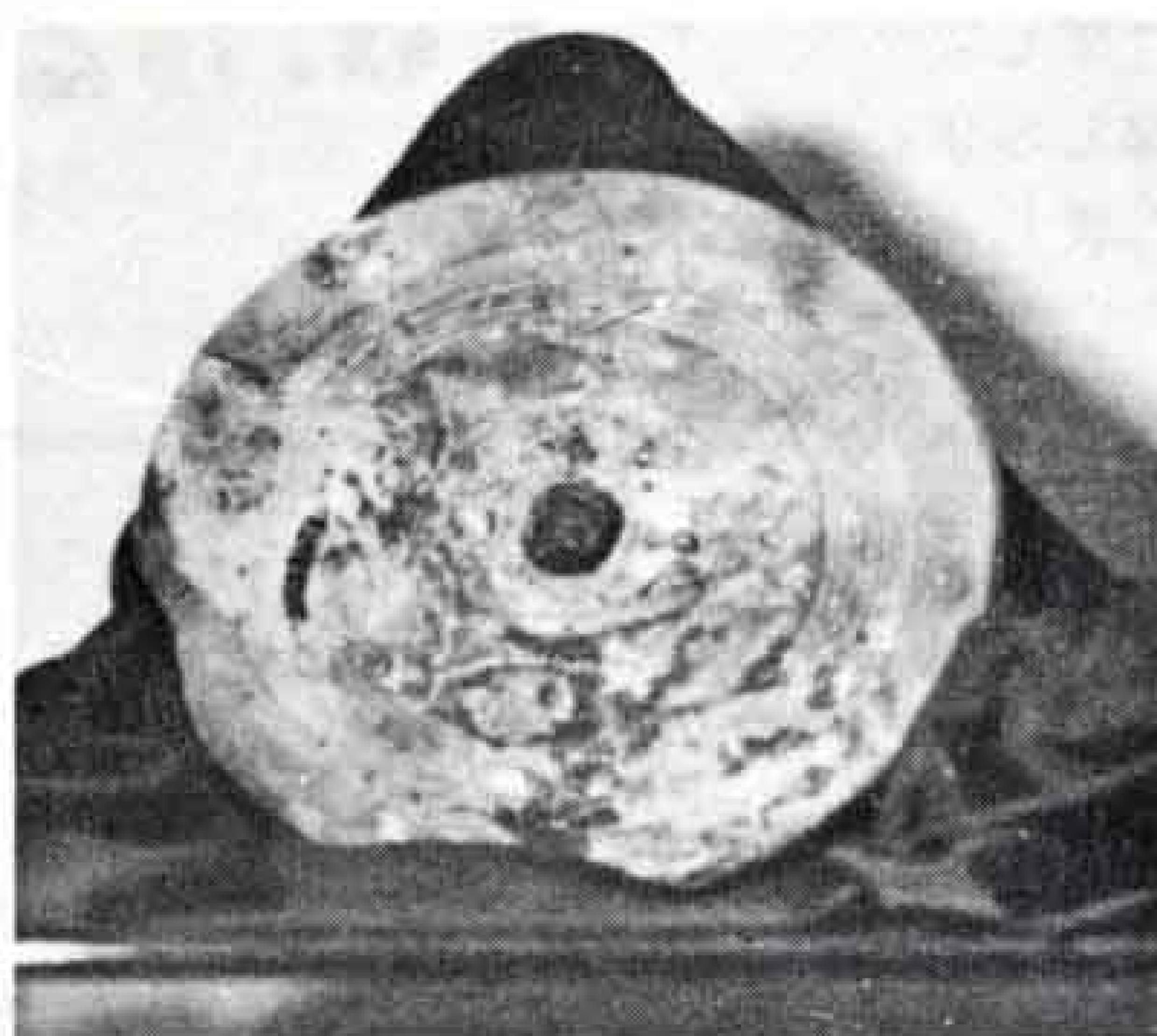
ていたけど、患者に手当がしてなかつた清水の病院に収容したが、翌朝、死亡の連絡を受けて暗い気持ちにさせられてしまつた。

○月○日 岳南鉄道で衝突事故が発生したという連絡があつた。救急車2台で現場に向う。現場に着いて負傷者が多いので民間の救急車はもとより、消防車にも出動を依頼してピストン輸送で作業をすすめた。負傷者の収容をすませ、一息つくとともに多くの人命をあずかる輸送機関のミスに怒りを感じた。

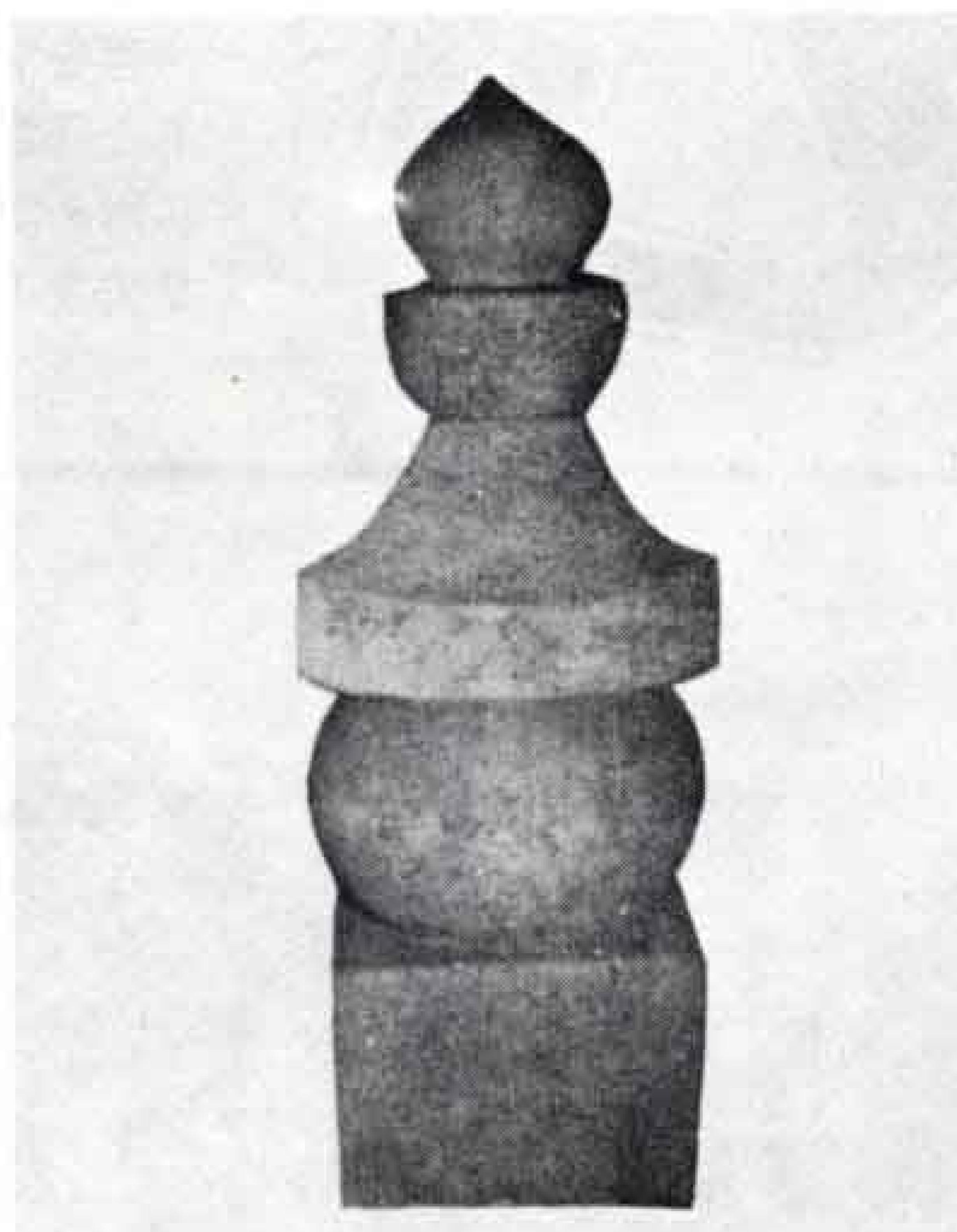
富士市に救急隊が組織されたのは昭和41年5月。ことし救急車を1台増車し現在、消防署と富士分署に配置しております。隊員は隊長、運転手、隊員の3人1組で、2交代で勤務についています。さくねん1年間の出動回数969回で、搬送した人員は791人でした。

『119番』を乱用するひとが、このところ目立つています。119番は『火事、緊急』のときだけに使つてください。

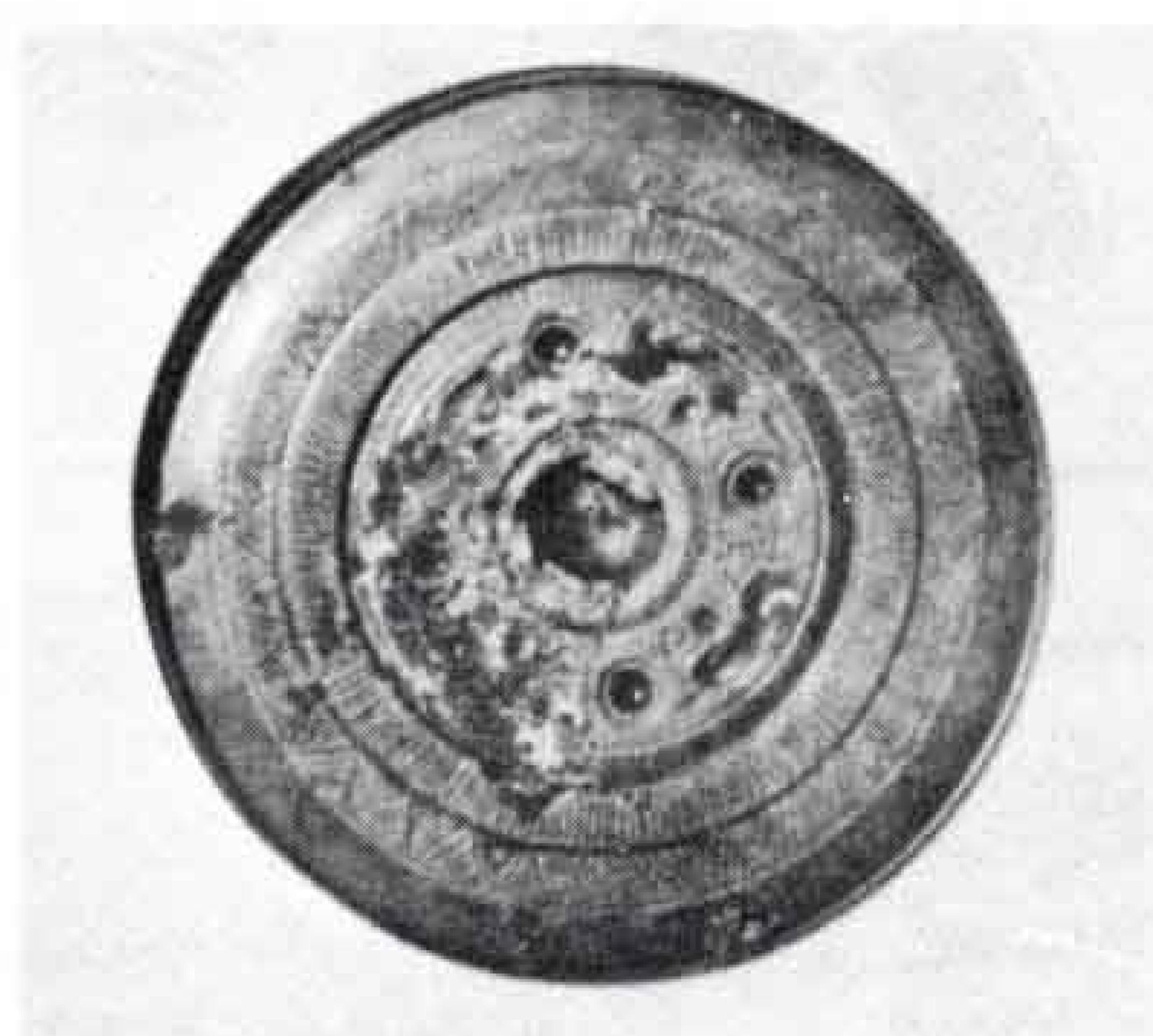
メモ



■ 内行花文鏡



■ 五輪塔



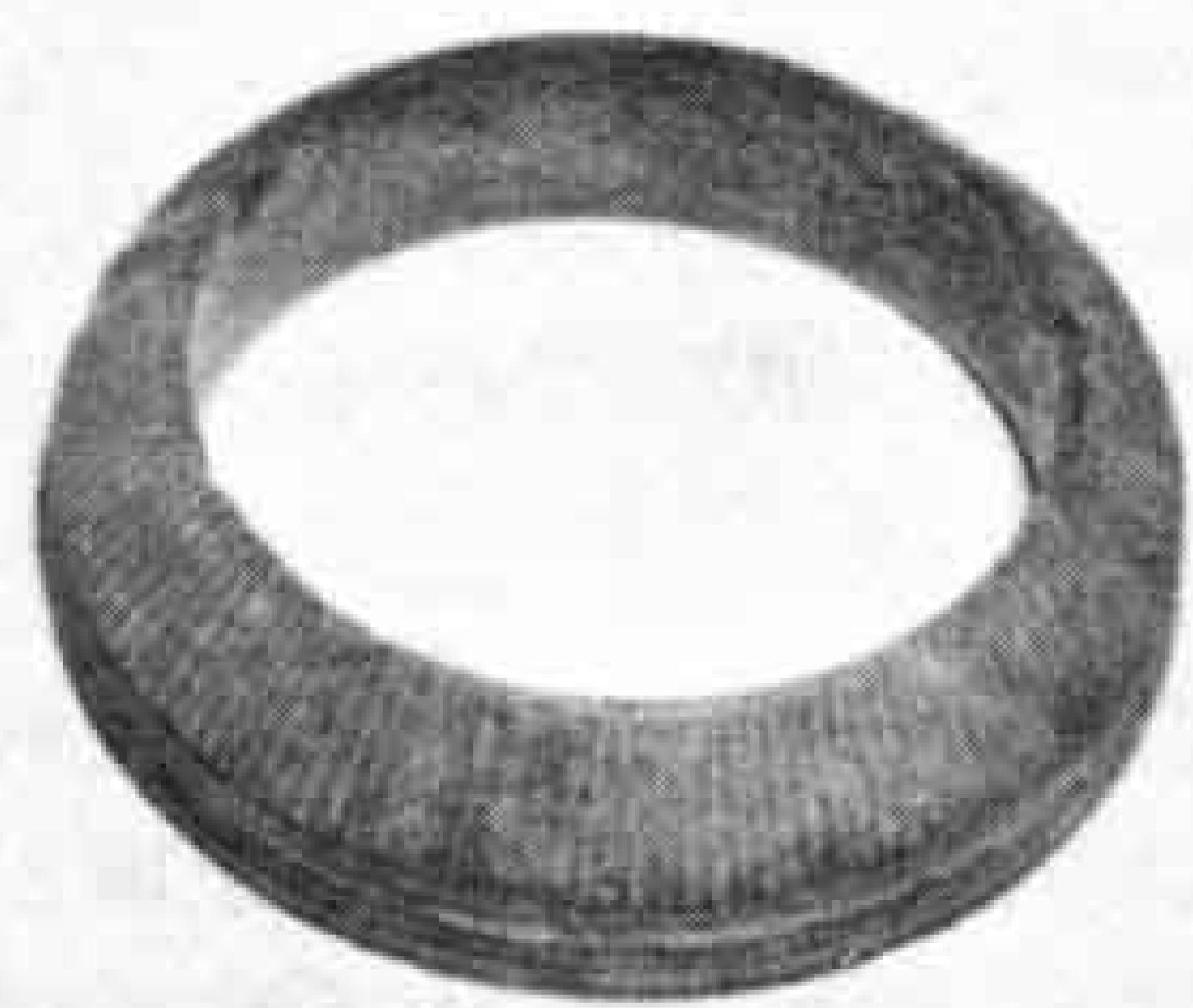
■ 神獸鏡

富士市文化財保護条例にもとづく市文化財の指定が行なわれました。今回指定されたのは東坂古墳（比奈）の出土品全部と、鈴川砂山で発見された鎌倉時代の五輪塔の2件です。東坂古墳の出土品は、勾玉（まがたま）3個、管玉（くだだま）18個、小玉（こだま）843個、ガラス玉16個、内行花文鏡（ないこうかき）

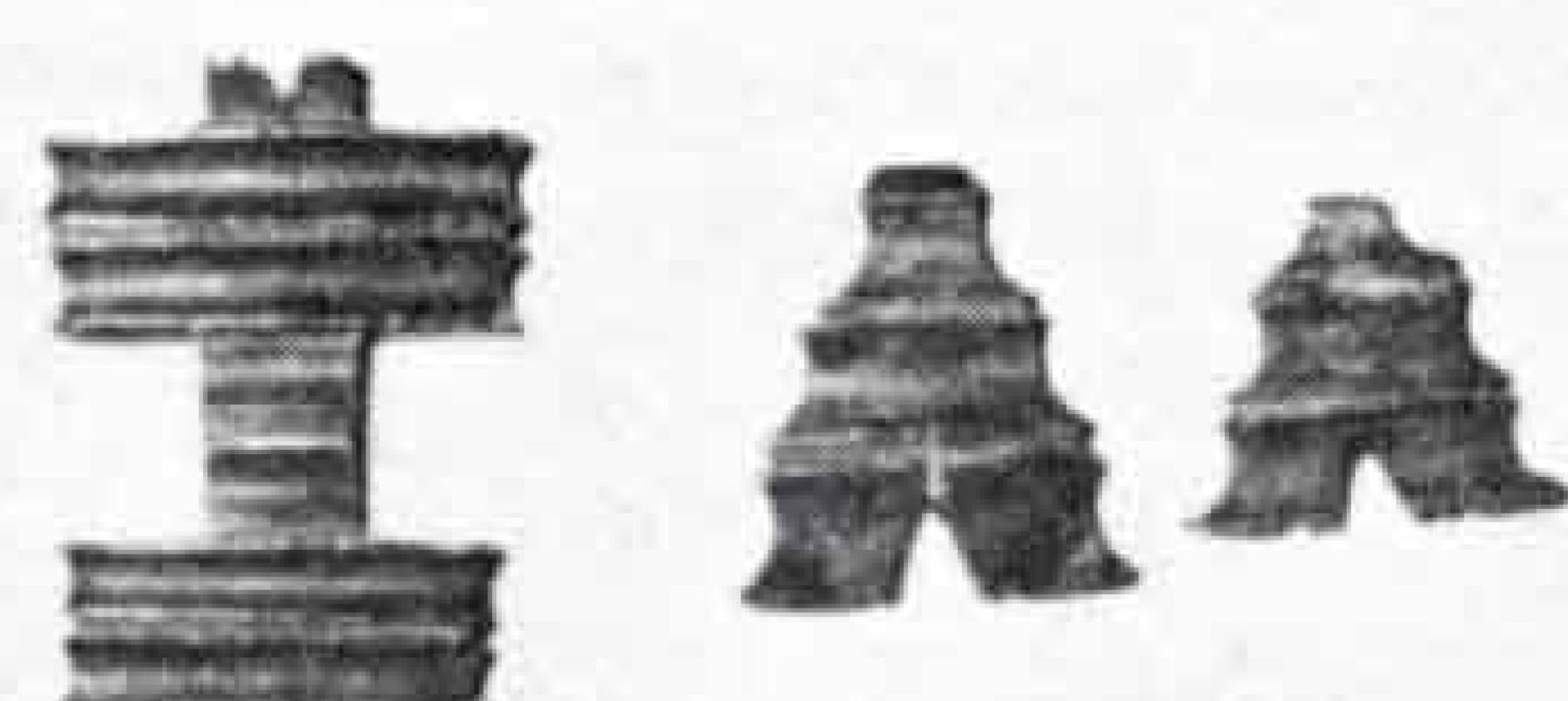
初の市文化財を指定

…五輪塔など9点…

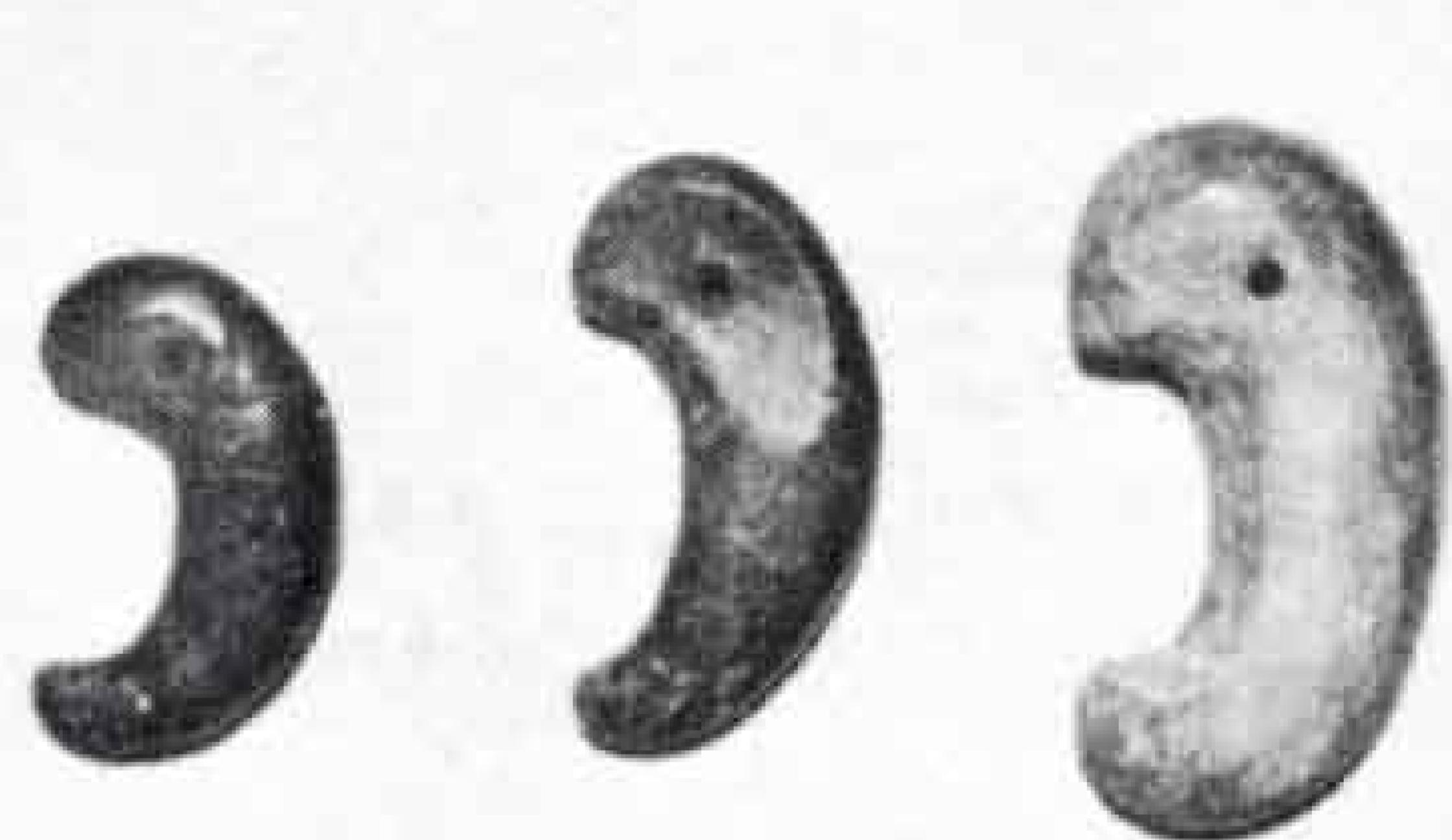
（んきよう）1個、神獸鏡（しんじゆうきよう）1個、琴柱形石（ことばしらがたいし）製品3個、石鉤（いしくしろ）1個です。なお、今回の指定は第1回目で近く第2回の指定が行なわれる予定です。指定された文化財はいずれも市立中央図書館（水の上）の郷土資料室に展示してありますのでご覧ください。



■ 石鉤



■ 琴柱形石製品

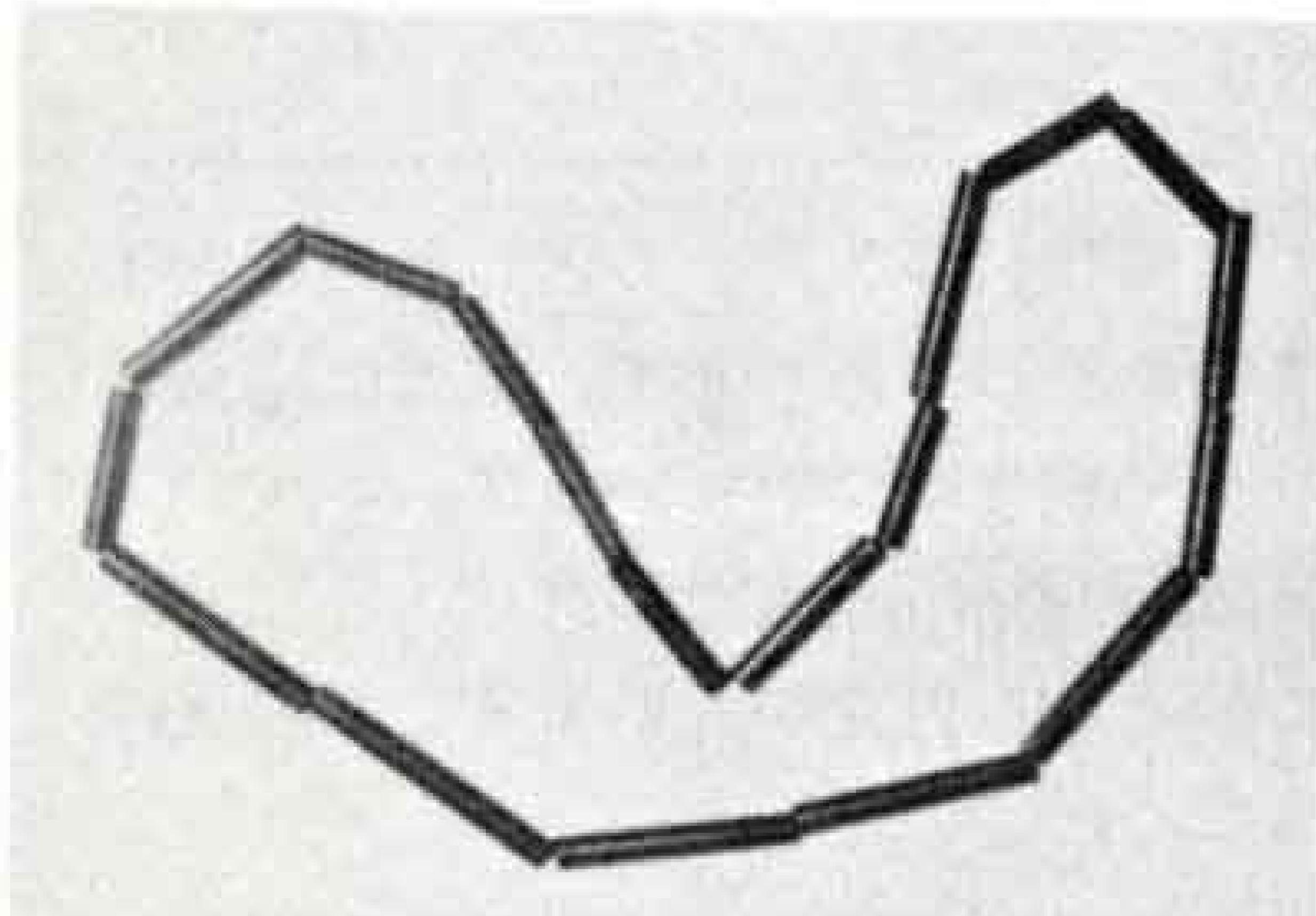


■ 勾玉

■ 管玉

■ 小玉

■ ガラス玉



■ 犬の放し飼いはやめましょう。

身延線西回りが開通

身延線西回り開通式が9月28日、富士駅で斎藤市長、落合静鉄管理局長、中村市議会議長ら関係者約200人が出席して行なわれました。

式は、富士駅午前10時8分発の急行「富士川号」の出発に合わせ、富士川号の運転士、車掌らに花束が贈られたあと斎藤市長と落合静鉄管理局長がテープを切り、中村市議会議長がクス玉を割り開通を祝いました。

身延線西回り複線化工事は、昭和42年11月に工費15億円（国2億円、市1億5000万円負担）で着工されました。新路線は延長3.6kmで柚木駅が新設され、豊堀駅は移設され、16カ所が立体交差になりました。

なお富士宮駅までの複線化は昭和45年10月開通をめやすに用地交渉、設計などが行なわれています。

【写真は開通を祝い紅白のテープにハサミを入れる斎藤市長と落合静鉄管理局長】



県下第一のマンモス農協誕生

…今泉など9農協が合併…

今泉農協など市内9農協はさきごろ合併予備契約を行ないましたが、9月27日吉原市民会館で開所式を行ない、新しく「富士市農業協同組合」が誕生しました。

農協合併は、体質改善による統合強化をはかるため、さいきん各地で急速にすすめられています。富士市でも、農地の減少、兼業農家の増加などにより、体質改善がさけばれ、昭和42年に農協再編成協議会をつくり、合併方針を協議してきました。このうち、4農協はそれぞれの理由でのぞかれ、9農協がこのほど合併したものです。

合併したのは今泉、伝法、須津、元吉原、大淵、島田、鷹岡、原田、吉原東の9農協。組合員は正組合員7,000人、準組合員3,000人の計1万人で、貯蓄高は約

90億円、販売取り扱い高は5億円の全国第4位、県下第1のマンモス農協になりました。

組合長には山田由太郎さんが、専務理事に望月正己さんがそれぞれ就任しました。なお新しい富士市農業協同組合の本所は当分のあいだ、今泉農協内におかれ各農協は支所として今までどおり利用されます。

これからの活動方針は、金融農協では

なく、行政と一体となつた生産組織の育成をはかる、業種別の専門指導を重点にした指導体制の確立、施設園芸などに対する農協施設の強化をはかる、経営を合理化して組合の信用を高めていくことを具体的にあげています。



【県下第一のマンモス農協になつた富士市農業協同組合の開所式=吉原市民会館で=】

大気汚染と学童の健康

第1回の検診結果は… 千葉大学が46年まで調査

さきごろ、千葉大学医学部の第1回学童検診の結果が発表されました。この学童検診は県、市、市医師会が千葉大学に委嘱して昨年からはじめられたもの。通算2回目で、46年まで行なわれます。なお10月20日から今年度第2回目の検診が行なわれます。

検診は、今泉小、元吉原小、大淵第1小、鷹岡小の4年生を対象にした一般学童検診と、田子浦小と富士第1小の2校を加えたゼンソクの疑いのある学童の検診=下表=を行ないました。

一般学童検診は、今泉小と元吉原小を汚染校（大気が汚れている区域）に、鷹岡小と大淵1小を対照校に選び調査を行ないました。調査はアンケートによる質問調査と医学的な調査にわけて行なわれました。

なお、質問調査は元吉原小、大淵1小について行なわれました。

■質問調査のおもなものは…

・家族にアレルギー歴の有無は

元吉原小は、なし74.4%、ある24.4%不明1.4%、ゼンソク14.9%、ゼンソク以外13.1%。大淵1小は、なし82.7%、あり16.4%、不明0.9%、ゼンソク5.5%ゼンソク以外10.9%となっています。

・カゼをひきやすいか

元吉原小は、いいえ6.5%、普通64.9%、ひきやすい22.0%、不明0.6%。大淵1小は、いいえ20.9%、普通51.8%、ひきやすい11.8%となっています。

・カゼにかかつた回数（年間）

元吉原小は、6回以下が79.2%、7回以

上が4.2%。大淵1小は6回以下が71.8%7回以上が0.9%となっています。

・カゼをひく季節

元吉原小は、春が14.3%、夏が3.0%秋が6.0%、冬が65.5%、通年が4.8%。大淵1小は、春が12.7%、夏が2.7%、秋が7.3%、冬が47.3%、通年が3.6%となっています。

・カゼをひくとゼイゼイするか

元吉原小は、しない54.2%、する25.6%、不明20.2%。大淵1小は、しない68.2%、する7.3%、不明24.5%となっています。

・工場の煙について

元吉原小は、こない10.1%、ときどきくる57.7%、いつもくる25.6%、わからない6.0%。大淵1小は、こない46.4%、ときどきくる29.1%、いつもくる0%、わからない16.4%となっています。

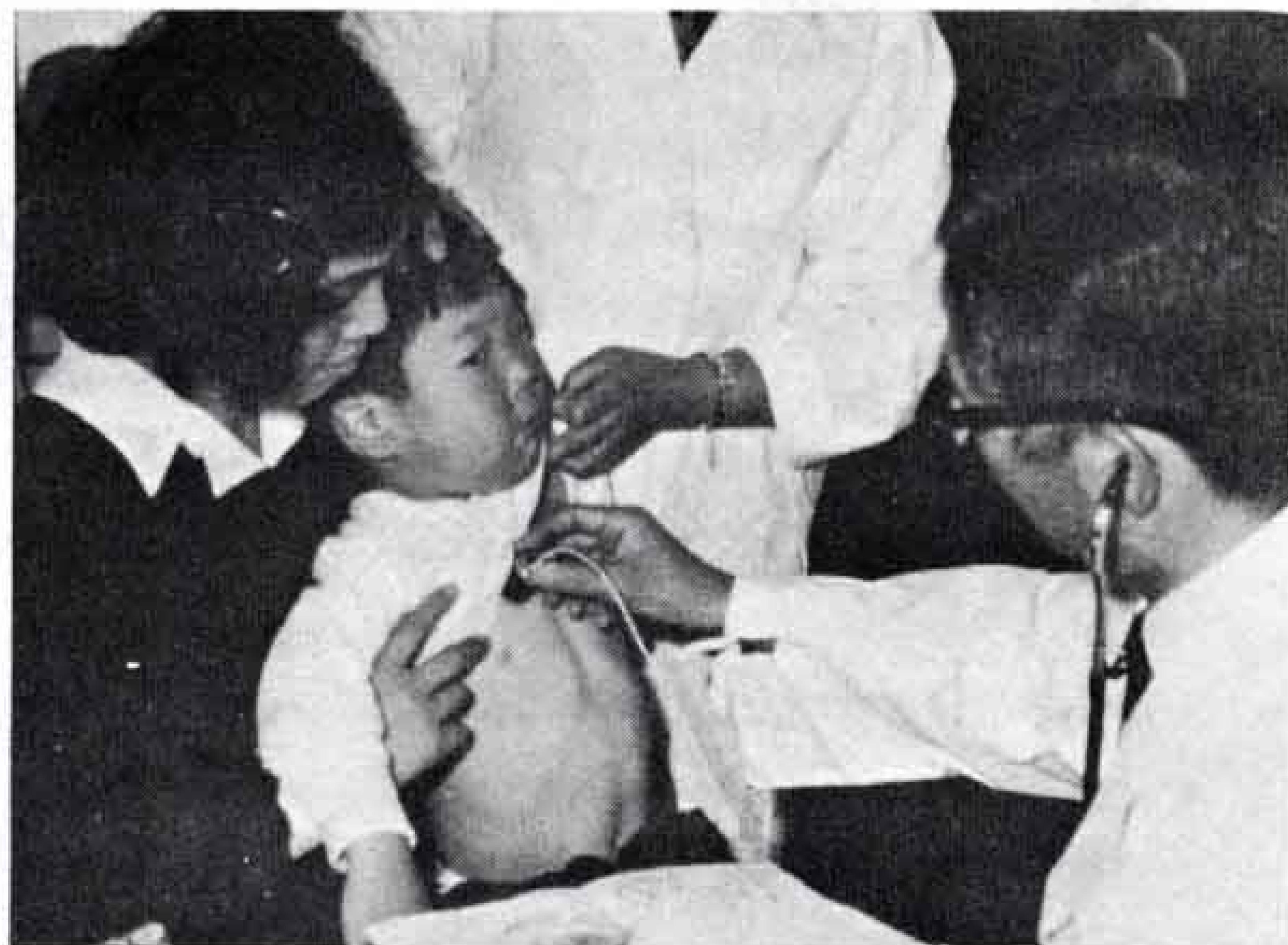
■医学的調査によるものは……

異常なしが汚染校は68.9%（今小68.1%、

元小70.4%）対照校は68.9%（鷹小74.8%大小53.7%）。鼻炎が汚染校は20.7%（今小19.0%、元小23.5%）、対照校は23.8%（鷹小17.3%、大小43.5%）。咽頭炎が汚染校は7.1%（今小7.2%、元小6.8%）、対照校は3.9%（鷹小）。扁桃炎が汚染校は0.9%（今小0.4%、元小1.9%）、対照校は1.8%（鷹小）。気管支炎が汚染校は3.5%（今小3.8%、元小4.3%）、対照校は2.8%（鷹小2.4%、大小1.9%）という結果がだされました。

なお、千葉大学の吉田亮教授は「汚染校と対照校との差があまりない。広い地域が汚染していると思われるのに、対照校を他市町にもとめる必要があるのではないか」とかたつていました。

市医師会が行なった藤間地区の乳幼児検診は、学令期前の73人の乳幼児のうち37人の精密検査を行ないました。それによると気管支ゼンソク5人、アレルギー気管支炎の疑い8人、反復性気管支炎の疑い9人、その他9人、異常なし6人という結果がでました。



【藤間地区で行なわれた健康診査】

ゼンソクと思われた学童の診察結果

	今泉小	田子浦小	富士第一小	元吉原小	汚染校計	鷹岡小	大淵一小	対照校計
全学童数	1633	1500	1809	1110	6052	1949	638	2587
受診者数	28(1.71)	18(1.20)	32(1.77)	29(2.61)	107(1.77)	26(1.33)	6(0.94)	32(1.23)
ゼンソク	23(1.41)	9(0.60)	19(1.05)	19(1.71)	70(1.16)	15(0.77)	0	15(0.58)
前にゼンソク かつた学童	0	2(0.13)	3(0.17)	6(0.54)	11(0.18)	2(0.10)	1(0.16)	3(0.12)
ゼンソクの疑 いがあつたもの	0	0	1(0.06)	0	1(0.02)	1(0.05)	0	1(0.04)
気管支など他 の病気	5(0.31)	7(0.47)	9(0.50)	4(0.36)	24(0.40)	8(0.41)	5(0.78)	13(0.50)

*表は6校の全学年にわたるゼンソクの疑いのある学童について検診したものです。

()は全校児童との比率を示しています。

一丸となつて住みよい町に

暴力追放・不良化防止市民総ぐるみ運動展開

推進へ協力員の委嘱も

さいきんわたしたちの富士市は「暴力の町」というありがたくない名で新聞紙上をにぎわしました。こうした悪名を追放し、明るい町づくりを行なうため、暴力追放・不良化防止市民総ぐるみ運動が10月1日からはじまりました。

この運動は、あらゆる暴力の追放と青少年の不良化を防止し、犯罪のない明るい住みよい町づくりを市民総ぐるみで実施していくもので、2年間を1期として行なわれます。

運動の目標は……。

- ・暴力追放・不良化防止運動の趣旨を広め、市民の自覚を呼びかける。
- ・警察および事務局に対し積極的な情報の提供と警察の処置の適切化をはかる。
- ・青少年補導センターの活動と地区社会教育推進会の事業を積極的にはかる。
- ・環境の浄化と育成、整備をすすめる。

具体的には①ポスター・チラシを事業所や各家庭へ配布して自主的な協力を求める。②社会教育推進会はじめ各団体や事業所に協力員（モニター）を委嘱する

③あらゆる会合で運動の趣旨を説明していく。④俗悪ポスターを追放する。⑤補導センターは警察、社会教育推進会、市民と連絡を密接にして補導活動を強化する。⑥親と子で築く明るい家庭運動、茶の間読書運動をより積極的にすすめる。などを行なつています。

このうち協力員は、補導委員、社会教育委員、企業関係、PTA関係、保護司など1,447人を委嘱し、運動の普及につとめるとともに、情報の収集をはかり警

察、補導センターと連絡をとり、暴力追放、不良化防止をはかつていきます。委嘱は10月下旬ころ行ないます。

なお、協力員は各町内に4人ないし5人委嘱します。みなさんも暴力行為をみたとき、不良化グループなどを見たときは協力員に通報するなど、明るい町づくりにご協力ください。

社会教育推進大会開く

第2回社会教育推進大会が11月7日午後6時30分から吉原市民会館で開かれます。この大会では青少年の健全育成と明るい家庭づくり運動をすすめるとともにパネル討議が行なわれます。パネル討議は、青年、婦人、成人、学校、職域、行政の代表がでて討議を行ないますので、みなさん多数おでかけください。

清掃業務体制を強化

執務場所が第1清掃作業所に

清掃課の執務場所が10月1日から変わりました。今まで、清掃課は鷹岡事務所で執務を行なつていましたが、命令系統を確立し、機動性を發揮するため第1清掃作業所（久保町・電35-0081）に変えたものです。

また、監督を強化するため今まで清

掃課長が兼務していた第1、第2清掃作業所長を新しく配置しました。これにともない、人事異動も行なわれました。

・清掃課長=小野田清一　・第1清掃作業所長=加藤邦利　・第2清掃作業所長=高橋博

なお、清掃課では年ごとに多くなるゴミを能率的に収集するため、整備計画をたてています。市民みなさんも清掃業務がスムーズにできるようご協力をお願いします。

今と昔

左富士(7)

依田橋地先に「左富士」という名勝があります。今では昔の面影はなく、松の木が1本あるだけです。

東海道を東から西へ行くとき、富士山はいつも右側に美しい姿をみせています、ところが、依田橋地先では松並木の間から左側に見えたので、ここを「左富士」とい東海道の名勝になつてきました。

「左富士」の名のおこりは、西行法師（鎌倉時代の歌

人）が京都へ上る途中、依田橋までくると急に富士山が左側に見え、その美しさが格別だったので「左富士」と名づけたのがはじまりといわれています。

江戸時代の画家安藤広重が、天保4年（1833）に將軍が朝廷に馬を献上する行列にくわわり、東海道を上るとき「東海道五十三次」の風景を絵にしました。そのうちでも「左富士」の絵は特にすぐれている名画だと、広く海外にも有名です。

（鈴木富男稿）



あしらせ



危険物取扱主任者の安全講習会開く

市防火協会は、危険物取扱主任者の安全講習会を次のように行ないますので該当する人は必ず受けてください。

■対象

危険物取扱主任者の免状のある人

■講習の内容

- ・危険物取扱主任者の責務・危険物設置の安全管理・危険物災害の防止

■受講料

600円（テキスト代を含む）

■講習日時と場所

- ・第1回 10月17日 吉原市民会館
- ・第2回 10月20日 吉原市民会館
- ・第3回 10月29日 文化センター
- ・時間はいずれも午後1時から5時まで

■申し込み期間

44年10月15日まで

■申し込み先

防火協会事務局（市消防本部内）

家計簿をあつせんします

10月17日は貯蓄の日。この日を中心に貯蓄増強特別運動が全国いつせいに行なわれますが、市はこの運動の一環として「明るい生活の家計簿」をあつせんしますので、希望

する人はお申し込みください。

■定価 1部65円

■申し込み方法 「郵便はがき」に住所氏名、年令電話番号を書く（代金は現品と引換です）

■申し込み先 市役所総務部庶務課（御幸町8番1号）

■申込み期間 44年10月25日

漁船の漂流物にお心当たりは…

ゴムボート、漁船、木造船が漂流物として保管されています。お心あたりのある人は市役所総務部庶務課（電52-6111）へご連絡ください。

■ゴムボート 全長2・5㍍、

ローマ字で「フジガーデン」と書いてあります。

■漁船 全長5・5㍍、上が白く下は赤く塗りわけてあります。

■木造船 全長5・8㍍、船名は第18京丸でエンジンはありません。

秋の全国交通安全運動はじまる

……10月6日から10月15日まで……

無理な運転や飲酒運転による事故が多くなっています。スピードのだしそぎ、無理な追い越しは絶対にやめてください。

発明とくふう展

高野篤さん(富士岡2)らが入賞

第4回富士市発明とくふう展は9月20日から3日間、吉原市民会館で開かれました。

発明とくふう展は、わたしたちの日常生活から生れたアイデア、積み重ねた研究などの作品を展示するもので、年ごとに人気を高めています。出品点数も多くなり、ことしは一般、小中学生から261点がだされました。

出品された作品は、全般に生活に密接したものが多くみられます。産業都市の特色である職場におけるくふうから生れた作品も多くだされました。

なお、入賞者は次のとおりです。

■知事賞 高野篤(富士岡2)

■市長賞 京王製紙

(依田原) 加納葉子
(吉永1小) 一杉和弘(吉原1中)

■議長賞 諸田勇(中丸) 片平博明(富士2小) 加藤正夫(鷹岡中)

■教育長賞 小野田真澄(富士1小) 山崎邦彦(吉原1中) 飯山正章(岩松中)

■県商工部長賞 富士

家庭紙協同組合

■県産業技術協会長賞 芹沢典正(富士中) 小林正幸(鷹岡中) 清明宏(富士南中)

■商工会議所会頭賞 小林貴子(今泉小) 井出智(吉原小) 村瀬俊(吉原1中) 杉山元洋(鷹岡中) 佐野和子(鷹岡中) 杉本伸一(富士南中) 中司良和(岩松中)

■鷹岡商工会長賞 佐野充(吉原1小) 渡辺隆重(大淵中) 青柳喜彦(鷹岡中) 褚田七生(鷹岡中) 佐藤正晃(須津中)

■アイデア賞 吉野昌子(蓼原) 鈴木輝芳(富士中) 新井彰(吉原1中) 渡辺英司(大淵中) 大井知英(吉原1中) 白井裕(富士南中) 渡辺比呂利(吉原1中) 鈴木武彦(吉永2小) 熊尾精一(吉原小)

【写真はアイデアを盛り込んだ作品の展示会】

